

『環』の公共事業 構想ガイドライン

		作成年月日	平成19年11月13日	
		作成部署	土木建築部住宅課	
事業名	府営住宅整備事業	地区名	桃山日向団地（京都市内）	
概算事業費	約33億円	事業期間	約6年	
事業概要	狭小かつ老朽化した既存府営住宅を建替え、良好な住環境を整えた180戸の公営住宅を建設する。			
関連する公共事業				
評価項目		施工地の環境特性・目標	環境配慮・措置内容	環境総合評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO ₂ 排出量等) 地形・地質 土砂移動 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	・周辺地域のヒートアイランド現象を緩和させるため、極力緑地を創出することが必要。	・建替え行う府営住宅においては、敷地内の既存の緑地の保全を図るとともに新たな緑地を創出する。	△
生活環境	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など	・地域住民の良好な住環境を確保するため、住宅建設にあたって緑化や付近への日照・通風についての配慮が必要。 ・旧住宅の解体に伴う廃棄物を適正に処理するとともに、解体時の粉塵を拡散させない必要がある。	・団地内及び周辺の日照・通風等にも配慮した配置計画を行う。 ・廃棄物については適正に処理するとともに、解体時には付近へ粉塵が拡散しないよう注意する。	△
地域個性・文化環境	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など	・住宅建設にあたっては近隣の宅地など、周辺景観に違和感を感じさせない建設デザインとすることが必要。 ・地域住民の親睦拠点を整備することが必要。	・周辺住宅の景観に配慮した建物の形状や配色などのデザインを採用する。 ・敷地内に児童遊園等を配置し、地域住民に開放する。	△
地域の環境像	施工地周辺は、集合住宅や戸建て住宅が密集した住宅街で緑地が少ない地区であり、良好な環境の創出が必要。そのため敷地内にできるだけ多くの緑地を増やし、ヒートアイランド現象を改善するとともに、地域の景観に配慮した建物デザインを採用することで、住環境の維持改善を図っていく必要がある。			
特記事項				

※「環境総合評価欄」：別紙の環境評価に基づく総合評価を記載する。（改善○、中立△、悪化×）